

■正解と解説

- 問題 1 : 正解はウ。4 が間違い。日本の ESG 投資割合は 1%以下。
(1-1「CSR 担当者に求められる思考と行動」から出題)
- 問題 2 : 正解はエ。埼玉県や横浜市などは積極的に企業の CSR の取り組みを推奨・支援している。(1-2「中堅・中小企業の CSR 戦略」から出題)
- 問題 3 : 正解はエ。4 つは全て適切である。(1-3「CSR と CSV の違いと位置付け」から出題)
- 問題 4 : 正解はイ。(1-5「欧州 CSR の流れ—欧州委員会の新 CSR 戦略から出題)
- 問題 5 : 正解はウ。3 が間違い。3.「水問題」は降雨量に恵まれている日本企業の意識は低いアジアでは上位の課題である。(1-6「アジアの CSR の流れ」から出題)
- 問題 6 : 正解はイ。ドッド=フランク法第 1502 条ではコンゴ等の武装勢力への資金供給となる鉱物取引を規制している。(2-5「責任ある資源採掘のための法規制」から出題)
- 問題 7 : 正解はウ。
- 問題 8 : 正解はウ。コーポレート・ガバナンス・コードは金融庁と東京証券取引所が主導した。(2-1「国際的な枠組み」から出題)
- 問題 9 : 正解はウ。英国で活動する企業で世界の売上高が年間 3600 万ポンドを超えている場合は、他国の子会社であっても対象となる。(2-6「CSR イニシアティブの課題と展望」から出題)
- 問題 10 : 正解はエ。(2-4「国内での枠組み」から出題)
- 問題 11 : 正解はイ。ISO2600 は各社が持っている既存の PDCA サイクルの中に社会的責任を組み込むことを奨励している。(3-1「CSR マネジメントの考え方」から出題)
- 問題 12 : 正解はア。(3-2「基本方針と体制構築」から出題)
- 問題 13 : 正解はイ。持続可能な発展への影響は考慮する必要がある。(3-3「マテリアリティの特定」から出題)
- 問題 14 : 正解はエ。全て不適切。(3-4「指標の設定とインパクト評価」から出題)
- 問題 15 : 正解はエ。全て適切。(3-6「ダイアログとエンゲージメント」から出題)
- 問題 16 : 正解はイ。バイエルは日本企業ではないので不正解。(4-3「NGO による企業価値」から出題)
- 問題 17 : 正解はエ。Behind the Brands はオックスファムが実施している世界 10 大食品・飲料会社の商品評価。(4-3「NGO による企業評価」から出題)
- 問題 18 : 正解はウ。認証ラベルは万能ではなく、特定の側面のみに焦点を与え、それが担保されていることしか保証していない。(4-4「消費者の役割/エシカル消費/サステナブル消費」から出題)

- 問題 19： 正解はア。NGO も社会から信頼を得るに足る社会的責任の自覚と実践が必要で、過度に企業に迎合しすぎるなどしては信頼性と存在意義が問われることになる。
(4-2「CSRにおける NGO/NPO の役割」から出題)
- 問題 20： 正解はエ。(4-6「CSR 報告書をステークホルダー視点で読む」から出題)
- 問題 21： 正解はア。(5-1「サステナブルレポーティングのガイドライン」から出題)
- 問題 22： 正解はエ。事業計画ではなく価値創造が正しい。(5-1「サステナブルレポーティングのガイドライン」から出題)
- 問題 23： 正解はウ。4 が間違い。6 原則に未来予測の記述はない。(4-5「株主としての責任」から出題)
- 問題 24： 正解はウ。(5-3「東京五輪とダイバーシティ」から出題)
- 問題 25： 正解はウ。日本版スチュワードシップコードも「コンプライ・オア・エクスプレイン」を求めている。(5-4「コーポレート・ガバナンス・コード」から出題)